

／横浜市医療局からのお知らせ／

データでつながる安心

あなたを支える医療と介護のネットワーク



病気の難しい説明を
まちがえずに
伝えられる



もしもの急変でも
持病や受診履歴が
すぐ伝わる



ムダな検査や
お薬がなくなる



災害時でも
大切な医療情報を
守ってくれる



登録
無料

ふだんも、いざという時も。安心は、たった1回の登録から

横浜市では、医療・介護関係機関をICTを活用したネットワークでつないで、必要な情報を共有しながら協力し合う仕組づくりを進めています。安心して暮らし続けられるように、地域の医療・介護の専門職が連携して支えるしくみ——それが「地域医療介護連携ネットワーク」です。鶴見区からスタートしたネットワーク「サルビアねっと」が今、市内へと広がっています。ぜひ登録をご検討ください。

詳しくは裏面をご覧ください▶

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
横浜市

登録は
こちら

都市型 医療介護情報連携
サルビア
ねっと



＼ もっと知ってほしい /

都市型 医療介護情報連携



サルビア ねっと

サルビアねっとをご理解
いただくために、皆さま
からよく頂く疑問・質問
にお答えします。



Q 誰が、何のために、始めたの？

病院・歯科・看護・介護の関係者が集まった協議会によって運営されています。ひとと言えうなら、「皆さんの健康に役立つ」ことを目的としています。サルビアねっとを活用して正確な情報に基づいた医療・介護サービスが提供されることで、皆さんの安心と安全を高め、同時に利便性も向上させるのがねらいです。

Q 他の地域ではどうなの？

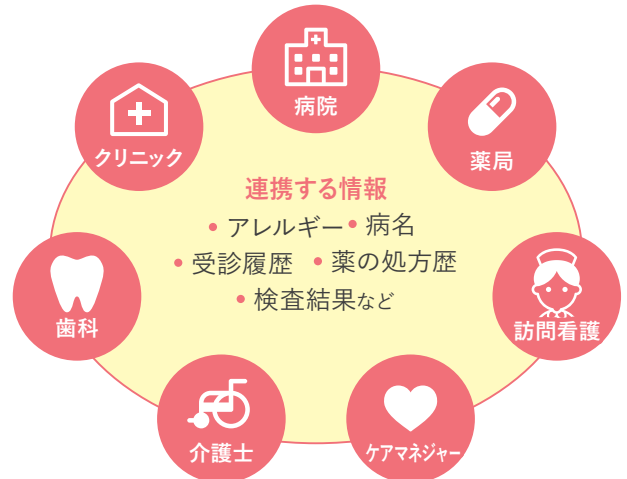
国が進めるネットワークづくりの一環で、同様の取り組みがおよそ200の地域で行われています。サルビアねっとは「都市型」医療介護連携の先駆的な取り組みとして注目されています。

Q どうやって登録したらいいの？

参加施設で配布している申込書に記入し、提出してください。参加施設はサルビアねっとのホームページで確認でき、申込書もホームページでダウンロードできます。現在、医療機関にかかっていない方も、将来あるいは緊急時の備えとして登録されることをお勧めします。**登録は無料です。**

サルビアねっとの仕組み

住民の皆様が病院や介護施設、調剤薬局などを利用した際の医療・介護情報が連携する施設間で相互に共有されるICT(情報通信技術)を活用したシステムです。



Q 今、どのくらいの人が参加しているの？

2026年1月現在、登録者数は約26,000人、参加施設は約250施設を数えます。今後はさらに参加施設を増やし、より充実したサービスの提供を目指します。

Q 個人情報を提供して大丈夫？

国が定める医療情報の取り扱いに関するガイドラインに対応し、徹底した注意が払われています。特徴として、情報へのアクセス権限を細かく設定しています。どの立場の人がどの情報にアクセスできるかの制限を設け、誰がどの情報にアクセスしたかの履歴も記録されています。医療情報を見られる人は制限されます。

Webからも登録いただけます

登録ステップ

- ①スマホでQRコード読取り
- ②「参加申込はこちらから」をクリック
- ③利用規約をチェック
- ④必要項目を入力
- ⑤登録完了、連携開始



横浜市は一般社団法人サルビアねっと協議会と連携協定を締結し、地域医療介護連携ネットワークの普及に取り組んでいます。

サルビアねっとについて <https://www.salvianet.org/>

一般社団法人 サルビアねっと協議会

☎ 045-900-3090 📅 9:00-17:00(月)-(金)祝日除く

地域医療介護連携ネットワークについて

横浜市医療局地域医療部地域医療課

☎ 045-671-2993